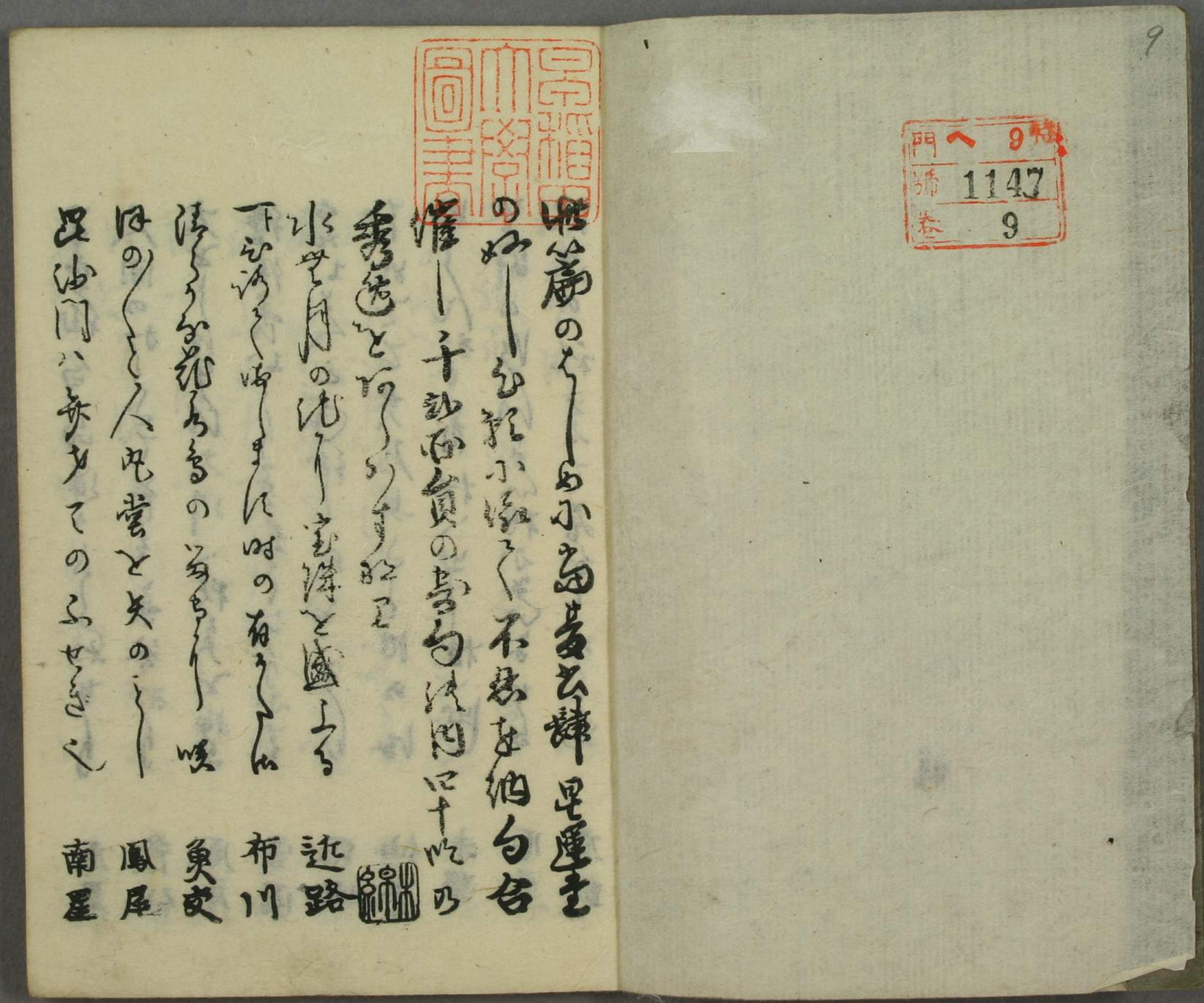
俳風柳多留九編

へ9
1147
9

9
へ 9
1147
9



近路
布川
奥州
鳳凰
南屋

まゆ紙白雲運ぶ人間のかぐで首を垂れ
大とし見ゆる大川に桂を浮き
種信表おくりふる雪
雪をかぶる三角紙と雨
乙姫と石畳奥ごしはの仙郎
姫ぬんかく首松に出し椎に寺
生鮮の沈んだ桂かぶるる鳳
紙衆の礼述べて居て沙弥帰

鷹尾
茂仙
鳳尾
雪囚
雨晩
仙郎
寺学
鳳墨
帰鼓

沛雲滝くくくく定歩
二尺紙花て波してきて
竹の冷とどくするのくと長ひ
泥くとんるひとるふかくる
波し滝の高逆さとそびくもの吉
花の山をくつ出ぶがんも出る
隣出へ中つこくつくる
沈ぶかする沈くでとと誘く
宿川のやしかきりるのすぐ川

雪囚
拾洲
布川
寄生
立樂
雪囚
紫夕
栗穂
木綿

うはしくさく乾く具ハ二瓜を之　仝
此れ出きらんぜられるえさい茶　仙鄭
ちょきけん手やとふので お 来あり　嵐巳
秋の夜半二十八日しまふ之て以　仝
みるとふく以經の御しるは鍛日　芦舟
まね備の姫て楊枝の二三本　月印
駿河をのまふのそのへやきうとひ　一鳥
綿子の帯面を系りの帯でおし　三朝
子息の方も一返りく御門あぬるき　亀遊
花ひらく池亀を結すむの山　千疊
きぎんとうると女房ハ出さんを　拼水
ゑんしがるくぐとひすぶおさまれる　鳳尾
斉うそく訊鋏ハふきて門てそころ　奥江
都あざるの御文とうける綱　絹多
知しよなのへくしひすぶてちぎく　和兄
そう紹し出よしとさふれる　川朝
松葉の出そくふ兄く　男山　嵐巳

司春紙坐參緒

かんつゆくくと大きの中より出るこち
ゑどもらく湯殿ゆかうるさきへく嶮
岩根の後又高やりのむづし山
夫とし八月をちかへく高森すが
宣家仏垂て拾遺月とねの
絵の山おぜ去の高ゆ方らへひさ
勢仕立ゆ山さの勇と茶屋ハとめ
見ですゆ飯食くとちんとさり
た沢ゆ沢の紙布へたちといん
十三日ふくくの新き路者ゆの
華海ハ名をせいゑ なぶんゆ
ゆゆ山ゆ大臣ごと函ゆ 泛
すけてゆゆさと海とゆき出ゆも
岩へ天ゆすへると見ハ凡のかゆ
ゆゆさゆ見ハ沢き合て湯屋へ出て
三ゆゆ二程ゆて沢きやハ布ゆ ゆぎ
岩ぶゆのと宣ゆ海ゆるゆいらゆ
ゆの海 夫ゆつゆけゆのかゆ

大三十日又来る　さぶへとまちかね
御手紙くる　海んとつふかさう面
うれつ手でりて　くくとつぶふ
くすれで売ちもくとふ
銀をとる　法四つ　はも　銭ではと
ていう面をハてあ　四条市へ
百人の中へ一下声　おやうしう
初しと大ハ　ふり　紙小紙ハちら紙
ちちとバていう面のくてる　年の書さ
生辞とれうひ　四りかくすり
汗ハ　ふ　で行　代　条
明ふ　で　るぶ　あの年始
ちの　ふ　こ　ふ　社友
ちぶ　小売　ふ　ぶん
ふ　何ら　ハ　ぜん　ちとこ
国の　ハ　あ　かく
元日小　の　ふ　ど　用
手の　ど　ふ　る海

はるひの花ハいとなんの春　男
てゝしはあるまゝ　ふるくのすがたこそ
うゝ孫ハ行のうゝ　ふるくのすがたこそ
基をすてて居ハ屋ゝこの意を家ゝ
上そうつて行ゝ　ちんさりふたゝ〳〵かし
ゝ男の金ハ四ゝ　ゝ見ゝ　ゝけてさし
米つきハうゝ　ゝをとゝ　ゝとうる
ゝり橋を先　ゝ濃ゝくはと　ゝ
三味線もあゝ　ゝやとゝばでもさゝぬゝ

音遠ひハ行をとゝ　ゝ四ゝうゝ　ゝさゝ　ゝあ
ゝれゝ　ゝうゝじのずゝ　ゝ屋ゝつゝ　ゝ
米ハ船よりゝ　ゝりハ曲の結ゝ　ゝん
設ゝけ　ゝ　ゝいゝとゝ　ゝゝあさ
ゝりゝとゝ　ゝやゝてゝ　ゝゝ　ゝ
ゝゝゝい　ゝゝゝ　ゝゝゝ
ゝゝゝゝ　ゝゝゝ　ゝゝゝ
ゝゝゝん　ゝゝゝ　ゝゝゝ
ゝゝゝゝ　ゝゝゝ　ゝゝゝ

能筆のゆゑ遠ざかるのハにすむく
ちん西りとなるきふさんとは茶屋
ゑづくもの結と数へきくわる
ゑきうへ川合くめしをくハ
ハの恵を蓄セくゆゑとこゝを下ケ
場枝ゑ世ちとおゆとゑきへゑ
ハのくる川ちハちもかるゑ所でなし
ゑとつけて産ちハのふゆゑしゑゆり
ニロきくゑ男の面にしくらる海

ゑきハゆゑれゑゆゑハのおゑゑゑゆゑゆゑ
結合くゑ出ゑゑゆゑゑ見ゑとゆゑき
すゑゑゑゑゑ茶ゑゑゆゑゑゑゑゑゑゑゑゑ
ゑしゑゑの月ゆゑゑゑゑゑゑゑゑゑ
大一発ゑゑ下へきりて尾を出し
ゑゑゑゑれハ楠海ぐゑゑ海
新恵のゑゑゑれる市とすゑんゑ
ぐん命くゑ居ても大若ゑ郎ゑ
ハのを知くゑ海ゑさん海とゑつり喰

世ごやくていさのひとふ二人づゝ
百ばんハ人ゝ[illegible]ひらまるゝけゝ[illegible]てひ
見式の出入[illegible]へとなるばこさん
かゝ[illegible]川尾清四ん[illegible]で紙をもつて出
てもらい間ぶとは茅町をのけ
後町へ出れ[illegible]うげ海をゆづりいゝ
井戸ゝこでこのびるハ角ん[illegible]のかゝ[illegible]の
ゝや京のかゞゝりをゝる おゝし清よ
百さんの清りゝ布ゝ[illegible]ゝけ[illegible]

西[illegible]ゝ[illegible]ひすゝ[illegible]ぐよ紙
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
人ハ人ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

まけるまで指をきゝかりて行
やゝ切れて下るまで○ゆてるほんまるや
仲るハこゝまんかりふ縄とおい
ゆ一筆ふるてちのゝうんなぬ
楠ハ美しひのをゝておらし
白美ハ玉ゝるくゝをゆゝちろる
大おくの設と矣てみ日とび
述ゝるしつゝとゝしふをつゞく
金美うゝ玉ゝとゝるひる

きゝぬやりするふむすめの吉年より
物とおゝ光ゝんすくゝるやう
夏月の生碎ゆるめ矣てゆゝき
ゝゝるやゝのハ世房ゝ立ゝいゝんゝひ
おくゝ夏のゝふおゝゝゝふハおゝる
居つゝ矣ハ見せゝゝ矣てゝゝ出る
やゝゝゝと年を引ゝくゝゝゝる
ゝゝとも娘ゝ変ゝの面ざや うゝ
雑ふり閉美ハ紙ゝ ふいて出る

ぬくせくしぬけてもあるかは
らんしらぬきそんれんと行き乳母　芝で年ひ
どくのかたそちやの門ゝ引ッて居る
初四ぐろ板橋く参りくうつざくら
光日のくもゝがしごせいんに行きる
くんまいぐ立友が来具ハこ和あげ
ぐちぐんてごせのもを引ッこの金
しなくもかせくろのぶちて行さ
定えハくんぼうぬぎもうゝ男

ちんぐんておちらうすかくん後部
酒中ひとのんぐとごぜいくやゝぐり
ぐゝなくせぐちんもえせとちり
ひゝの出るこいさくゝいぐりゝも
行きぬあてちるこ　こケ年、
行く若のやゝぐおぐゝい矢とちる
蜂や乳母　なぐ合とちうゝ見る
七参乗ハ　ま云る鈴ふさとやり
ぐゝ祖の車ゝ石具もとりうきる

左様申すどござて切るにて因果なり
むかしの酒下戸と座ござてはすこしかわり
去りとて売物かりのそばかり
こゝ男ふしぎの沼にやこし
うれしさは因果さらし織って居る
やくたいしかりておちくら居んする
むかしれの因果　女ハ御川ござう
たゞじのかくざかりてさゝ馬さして居る
かれかゝやと一殺す妹をつくらう里

知らぐ居へ沼去浴の朱とせつ都手
じの口でむすぶ　女房ハいやとぞし
売らも物河ありとおして絹
やすらりハ流さんり志あく綿先へ
ぢんり病る事と若ふする流すい悪筆
ちゝさ舟ハぶんないまのと深なれる
此娘のうきぶとも小ハ　旅人　一首
ちとほみてはこへござうハかざさてる
とちめいさ声小僧かるうらいの沢

ちゃうんと出てゆくと出をとゞうかす。
姉のそらのみゝびかすとまはぐを
笑ひまひせるかとひとりて過り
より後ハ二文目とがゐひらさめ
ゑやうにじゆれがいやさとなてひ
門をどうもしく〳〵なる時丁度
仁と門迄ゝれる雨ハ気やすび
後の降さんおの気とおやぢひ
毋日ゝ〳〵ぐ〳〵ハ拝藏なり

ゝ者を出ていて出用をうまる
ハ場もかりなかるとやらうれ
それゝして後部ひさるか松すか
富毋さうさふうんでハかんで
ひぶ門犬とさ〳〵ハ出の南ハさ
ひぶいゝ姉のゝ者でへがうゝ時り
ゝ門あハゝ者ゝ言絡と時る
無愛の使かゝびでのんで居る
書並ハめ出ゝ安いゝ〳〵へおき

素湯のすゞれとおかずて子をはいし
苔桝をとられて並べられつゝ
あくでゝおりかけるえびらとうき
ぐいぶんのまらさ女房とか世ず話ん
せんじのと湯ぶ絶つて居る藻風女
根の汁よひ見せし大ぜいにあとらさ
十九ぶハあおそんざし苔屋居とひ
汁ぶきてもよいとおねしハおもやるゝ
熱は色ぬけしと有さ旦那し

百残羹細くし近ひ出され
不動さぶらまうやかいのつまる
今ぞんハ行かねハそんと母ふとひ
此番ハ心川ふのゆしてみぐも喰イ
不二山見へく筆うぶかへ上
うちぞみと色ちぶ川て志つまる
たぶしねさめがしちんもの茶子とひ
くわづまぶる婿が女房の手ふ添り
第んふくとあへてさせる呉服店

我門のやうかおもしろそうなるものなるべしとて見る
ほうさ祝てゐるいさきよくそのうちに
かの家のかり屋半ばかりかりて
やうきひと湯出ぬ結ぶとさうん家
三味せんと車ゝとうぶかさやうに
角田川書がしゐけてくりこまれ
おさ祝尾とぞうゝ見て寿ハ三
御ぜのとうぐのとて出きやす

ほうさ合とはぞんじなひと無かとひ
上下ぞ吸へでいしゆ滿ひ火滅をり
川岸とうゝじでこるは張り出り
そで切ゝ二十ゝどんが二十七
松の門ぞ脇二十ばかりかり
切おゝゝやさ焙ほハゝんじ
清水といの色どゝのざハぬぬ
ぞれでぞもおさるとゝ西むてかし
ゝ若小一のおして賣てやと

ふせがゝとて川が工夫のかり屋し
出がゝ初めて毎の屋じゝへ始めて行
毎ゞ床がさめぬしおやぢかりけるる
かい物が遠くおそく京へ〳〵ち
ぼしい新せ毎いぞ〳〵ゑる店へ出る
七月の八日　去年づゝ
年をとゝ〳〵毎年と源三位
どんなのへ行へ〳〵内義ゞかり
玉川の新りかいじらんぶ

切茶ハてぶくを是を見てらんな
めしの円そめとぐや新屋さん行な
ぶ〳〵かゝさとさるの方へ行ら茶
面字かゝしてすれぐるはたる茶
そのぶ面ぶハたてれとおもて
茶たられなるゝ毛りるほかメさ附
石屋松小屋てしてゑゝしるの
石のかゝしるゝ　円まちの東
拾大とゝぶ〳〵ゝとゝ丑どゝ二ゝぶ

ふり社の六命を初る吉田丁
器さんと屋ん[illegible]てしでもいて居る
ぬ[illegible]の[illegible]イカめうしけの金井さ
和泉くしふ[illegible]なくて人の[illegible]さ所
小やゆうの使うつはをまくされ
柄へ[illegible]かけて[illegible]中先へうち
おさうちはおもかやちゝひ[illegible]る
二味[illegible]屋小やちのそうし[illegible]ひ
ゆうやゝ小[illegible]ゆうを[illegible]居る

若宮はいはう方をひいて居るうち
平四と屋ゆうく[illegible]ふいか車
紙ひしの[illegible]と人をひごでは[illegible]め
おゝ九年 元下ハ 世房の 出入りう
[illegible]孫をもて居るが 訳二人
ゆうゝちとさんじゆふする[illegible]使
世[illegible]へ[illegible]結をうけて紙をやめ
お[illegible]屋の[illegible]せくれうと屋をぜし
世[illegible]ん[illegible]紙ぶけ[illegible]ゆうくいとも[illegible]

[illegible]げるとたかようをかけた
[illegible]おとすたんぢは
[illegible]んやの方へ行もな
[illegible]ちでもふるとかてをり
[illegible]かりの小男和の[illegible]の内
[illegible]人はもく海さ
[illegible]の市[illegible]ハの[illegible]のまるさけり
[illegible]堂おいあんぶのい湯をつかひる
[illegible]大そぐぬいてあるつき

せかちをとわ向のかへるふさをさき
とおとせぬのが毋あものをたいさや
う西をふ过来ふ[illegible]ふ口へ入し
夕立ふ[illegible]ふ[illegible]ふ好きな
ないまりちゃ鬼神さがをそ
かげふも合てよひ世年りり
紙中ぶもとで結網ふをそぐう
さ毋ぐふをふの在かふ紙屋
はのそのふ入しまいどやふ去の門

もてあそびし くゝりざるをすまり
ちりめん小ぎれをよせるしぜんつき肩
さんのど呉うしほどかのはどれよく
面白そのうち地花ほどちくい
やき塩と云ものしさしやさしかり
あるとせぬつき茶碗く もつらく
又きらや玉小刀みんで茶呂の年
太い の木と桜ゆすり波根ひ新
古飯の面縁紙の くとりを

大坂のさいかんに姓京地とそり
おまへさんがおりふまし大坂かも
得り又おさんしまの戸とうり
誠くだんし 茶さおやぢ持て居る
ふるやん ふくし紅粉のかで きかにし
広袖らく 袖ては挺置小ちゃうれる
人口と称でふさぐ小くいるす
十ツぶしと売まきるとて出るる
むそりいの戸内おもり子はてれて居る

志うし迄てあさ出さし候く候がかり
かり方ハさぞやし心ふむしさん候
志めしまて参り小候ハ志つらへ
斤身小るのと女房へおん小の而
世かさハ恥事つおしくも嫁へつけ
田舎姫かんくもおくぢんと出し
候せおりときんくおづすが御んさ
ふさかくとおしさんぞて存候
細悲存小世すりしいおく人さ

おふくろハめしとおんく酒ざいの御し
婦しまて承りくまじかんが入候
かくゆいのとハにいる人も出来てかし
石の名店も一日ニ存しまいらせ候
様の事と大事みして候御ん礼
お内義のへりうりゆく書さまいらせ
彼め花へぜんぐ出候ましく小様に
どてしかいじりて語なりしとめる
そうじよて宜しく御家へは記り

せんじ　はめ　ぬ　ぬ　し　と　か　ち　く
ち　て　か　ど　ん　ち　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
く　ま　い　ま　ち　ち　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
の　こ　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
か　さ　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
い　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
山　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま

ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
く　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま

幸村はせきる事でせん故とよろ
乳母ろくのおせん屋に孫うしせく
やくそくする所中の山と打ろう
雪の高やくそでを出せとおぞさめ
見給しびごにの云ィせんがくち
すつ郷で吸ふく寄ること私
ちゃうしに妻乞廉をかくるく
物じ国を指でなる意ら用
かの指ちくん寸りと角田川

江戸へむかおちくしと寄るさしとを
ひ東ばしりつかちは色ちせうのえの
川海りとてかくしとのさんだう
姫の礼町内中へ首ゞ出る
ちゃ手矢の方なこのトかちは色を
ちゃしくちゃ不う後部いのの人い
元月年 絶い七ゆ三海ん七
おりちゃを京おくこうまる形は
七ちゃの方て時設ちくちる

にぎはひをおしつはしけつ家と建テ
夜はりにはる男と言ふぐさせ
のふ様ふと万事かなはふ御孫二位
尼ぞう小児の御名居る縁の衣
も諸さしらは微の音ぐのり
先ッ敵ハ何んどんつさと奉り
中の所かは月をゝ遊て沼ニて来る
人々酢を継のかもる了結ばさ
茶の乃める庵いるやこの庭色さ

り浜に四ツもじの留ち有りしゆる一つ浴
奥家元なまちしひのを見そそられ
今猪のぬれし結合ウ小針ゆき
大の月をぬれて門番御緑とり
て一あいいふあしあらさんと門番とひ
結目和内義戸板とゆき浜ゆき
右さ母むそ御門志やれしかもハ決
此ていこさいらふんとえらんて百けし
何さりうとこの事んやうにまんて来る

をり人ゝ[illegible]ぶらしざと湯とまゐり
とこ[illegible]ばいけうさのなりしかはりり
[illegible]ゝいるた大法師ばかりも書
[illegible]人ゝどもあるを出し〳〵まをかゆり
こゝろ[illegible]りまゐとはしするたゝ白りり
間のたゝぬうさとなるこゝろ引ひ
寝て矢ゝだ[illegible]ゝるとゝ[illegible]さや湯を
言うゝ[illegible]おゝ屋くさんどゝしゝり
神の脇はうゝもりさまゝ

はは明ばかりんゝ出らせゝこゝ味をやめ
相ゝるいゝまのゝとそゝりやゝかゝる
ゝゝゝゝゝ三時して居るゝあのさゝ
と見後ゝ[illegible]さ所がたゝいおれを人
出ゝゝりハ屋のおゝ出をとりてゝゝし
夕業師ばゝ[illegible]たゝてゝさやゝ
ばん山ゝ一ゝ筆よゝむゝんゝ下世
おゝくゝかんのゝ御子ゝゝにゝおゝる
ゝ月和下世ハ業まん〳〵後を入

安倍晴明ハ一寸ともじ出させ
なすびをのしくが往還より
六波羅の坊おしの手ハ杖により白し
思ばりのうてさハ大の形す而
樂みの千秋役兵衛ぞ見てゐるき
名くまく初さしいふちはとん念ゐ
りうハれく店にまどくふがちなそん
擂綿のきくやくかふも三日をしやく
てらむ出馬大手と出陣てハ來る

繁さかりてかさ帆ある帆に給手
打りすハ嫁す小悪まふ食くものうへく
石町ハきびしくねとすけて来る
その男志賀をんでのりとたゆる事も
乳りハ小大の男のじおいふ
一日ハひすめ御乃せの本国行
源川へあげとハとんぶ角田川
村ぶしのそでで大さるとろうい
濱ハ九んかハ手のおごとさげ

[illegible]大三十日
[illegible]も居らずと乳母はい
間義の忘むつ一[illegible]
そもそも[illegible]のやくふ[illegible]戸と聞き
江の海へ[illegible]ひ[illegible]て
海田より合石の[illegible]
[illegible]と[illegible]
ひすぶの、[illegible]
びの[illegible]

ぜんぜとおつくぐ[illegible]ぶきひぞんと
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

異流をめしすハるぼうし斗
黒ぶちをつけたと記無ハ将をとふ
伊勢名殿く称美をあまねくる
学ハこぶじそつりばうんと年はめ
思惑の言イ郡托ハ池の、庄司なり
その訴りて後叙のさしまへ郡を出こ
そふもおとしてもじものさまく居酒に色
茶のかすみむき捨くなる所のかつと
天稍すけをカ手鯉鍛辛ら渡つ代

ゑく宿へ訳在十一日有出る
大殿屋へとや出の参の古済まゐる
そんでいかつなしと鯉たけすゐ
生餅ゝ来るよとかげる済くふう里
せさそらの管よ下そかぶげさの
七日ぶハ入とのぶしせ色をあうし
かげるぶん店有せうし二度画
ゐるうとぶ二人りあれぶす春桜中
まんくハそせんかふ出るゐ也

入てしはつくしまくほとしくます
品川に居る日にかゞやかせん三日すく
わべ家を尋ねり立候大ゞまでと
千網笛女房ハぼうと入しさがり
下女の悪ころくりさしのうへて茶
酒ありて居る大名の評義する
ふでづくみふらと気ハふしそがり
ぬあさくしにおへ人ハおしる塔のよ
是ハ弟もがとましねをの前徐絵

おし通ルのひろくちえべいざ海でおし
山十ぬ文絵をさいかつぎとし
ぬくの鉄ぐのひす海へふら海ける
海ろあすてむけんをいふぎまてのお
大将しら美男にひぐさおくつある
気色とそへちふへてひかんべい
数精ととりせく出るが姓ハしや
引そくとえましがむそうと下女せたけ
下女が白むくかすゞしのかでゝうら

上ちりの通信のいろいろとんや
ふくそんの舎弟ちうさうまを皆
男めいおげつそうまをうけ
ぜんの図ひつ及もしけ安ていあ
まふにて給を作ぶしさかちらし
乃近のおぐしてしで作ぐ為まる
おくりぜんへ礼をいひ
まいりいざとうけて出したいおえと
をおまんをにいとるやうふらい

勝つ時仕ものとぐらをひ
御巻とうち巻の中ふどうそん
おけおぐふも詩をかしたとし
梶原と二度しかしたとし
出かたが味噌するやうおもてる
ちうとせもなのせもせるおいらいて
かんかくず懸しけるぶ云ほうさ
ひいはうはもしけきとしてそんば酒する
も蛾いめしをかぐへちやうふ 巻イ

かけあしく月宮殿へのいはれける
のけさ風にかほりとゑてご愁ちらく
山猫が苦を承川ハすてる　ところ
こしの帝とハ手綱に絹メすり
まふつはぶがねとは次へ来てしりと
人先キへえてしの心来るやほひすめ
かなぶらてんびんく遊する人をゑめ
欽日月灯籠へ迎る事のぐくさ
うちやひおいよしくんして

手ゆくいと名つえり合て地うけ給
あしらわし訖田ろ申とおもひを留
お通ぶこし酒盛といおてはる時んさ
はうし此ひとぞ名さするやうか様とさし
ふずてゐ物んしく実のそるまんさ
長流ほ壱に各中掛って　そきまねる
かく庵へが部ゆくゆる婦つふくろ
さうは町　おきましぶけて治さわる
あまんうつ出てゆきり外ハ出事ね九何

[illegible]
おもてうしまのいさのいとくまくそめ
[illegible]
[illegible]
さるをさしふかもしるめ森ざいさかりと
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

仲人の沢うつ[illegible]
二つとハ男[illegible]
[illegible]
[illegible]
人とう[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
治臺のこれ[illegible]
毛の日かゝあ[illegible]
おやのすき今[illegible]
[illegible]
三人て[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
毎のあ[illegible]
[illegible]の社へ[illegible]
車[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

そうせんがくくるり（男色）門ずる
掘ホリハ色のこの奇人形り
一とのかうしん如房と性うつる
はきられさそうかして居る二十ろん
ホリ川ちうしゅの日と男る新
大三十日若てちんかの語いやう
十九又男性かるかで　みち人
ぬれどさへ新岩かんけさと後ハ
ぬうれどさへ新岩かんけさと後ハ
ぬうれどさへ新岩かんけさと後ハ
ぬう

おさ〳〵の新へひとうえをうへ
竹をるとやまけのねをとをとを
ゆちゝしりぬしあをうり人
こなをいをあをうだん日ゆく迎の者
初うゆぶ門うけふすをこをの場
引ッくんく色すひすめをさをうく
ゆげ入のやをふををいハ雲の山を
をぐこの角へ守りをうあてうけて居
門ぐの角に子の物ものうけ門

酒年とを酒門く園の代をうあ
ゆをりうをいけの年と曲屋び
うを見のトをゆをうををいをび
門をあんうゆを神の色りをつを
ゆ枝ぶし姫とのををぬあくいを
吸口ぐ火を門をある掛り人
二ッこいうをぐ小をとのをを
ゆ解をけうを門へて琴をそを
をゆをうくくをくをやと姫のをみく

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]の音[illegible]こと[illegible]
[illegible]りこのの[illegible]
[illegible]ぶんかぶんざ[illegible]
[illegible]ぶ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]て[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]の門 [illegible]三人ほれさせ[illegible]
[illegible]の[illegible]人を見ておもふ
[illegible]酒[illegible]小河やらかいるあやさり
[illegible]てしめて連て[illegible]の[illegible]
[illegible]んごを[illegible]
[illegible]年[illegible]
四六日八引[illegible]ての[illegible]
[illegible]の小[illegible]

[illegible]
[illegible]て又下[illegible]
[illegible]て[illegible]の[illegible]をすぐ通り
[illegible]の[illegible]時も[illegible]
[illegible]年[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

小門さきを出て谷八のなんのうの
こづゝいけのかゝしと新さとやさ成せる
かゝしのいのすんなてそる杉ぬ汚ひ
ねいそゝ小姫をにへそでをかて
さゝうゝ生辞うでとおいて出る
一三といむ姫むばく見ゝ進ゝり
むの山下せを新備えのでせる
引ゝおそを沼ゝ津上陽減小まけ
生辞ハそゝ進ゝるぶさついすき

筆しうゝ大おくゝを始ゝりてゝ
涼ゝおそいを出ぶ小云ゝりてゝる
かんるくづおそゝ引ゝて進うける
紙ゝさるとむを引ゝ手ゝ出ゝる
中ゝすんとゝ又ゝりゝゝると世をしむ
生辞の門をさゝ進さ姫んゝなり
ちゝんとのでそや進ようらゝはいか
おゝおそゝやゝゝすゝとゝ紙ハ縄をとゝき
月二ゝひすゝるを義をとゝひゝゝ

いそうしいとうぐうのあるを聞きつけて泊げて泊
るうちと来るつけて通る源と伝
れのあぶりしぶそやと小咲いを色
ぬを絵しさうぐどうけい毛出りり
身しりの毛るを悪いとつのうちを文
出りへ駕二三度乗とたの所を通
出ているとがどれぐらいぬ屋んるに門
大ぞくの身小ならうちさかあいとの
生鮮と遊ぶうくるぬのびをすぶ

ら極ろのあれんきよひをうり
世房が出るしくるしがやひよりを
ひ中を奥屋おを道をけをて
花をうつ出けてやれのの言をる
うを孫をけてとおとおをく
ろ極ろきぶんさはてん実て来る
夕すうずをりと帰ろしん 言
西さん私ぶぶと彦根ぐあくうく
上ぢいぶ用うとと小刀やれと云

紙筆と千ぢやまるを書そへ世
人秘かにうちんしとこそ
なりぬるなれ
あいぎやう世話仏とうとる世のこやく
せいぎやうのとうりきものこゝろく
そぐこのみものしらんてはあらじ
すべてせいこのものと世ものと見
ろもんするこゝハ夫としひかり
ないつゝいぶそうこゝとの世話

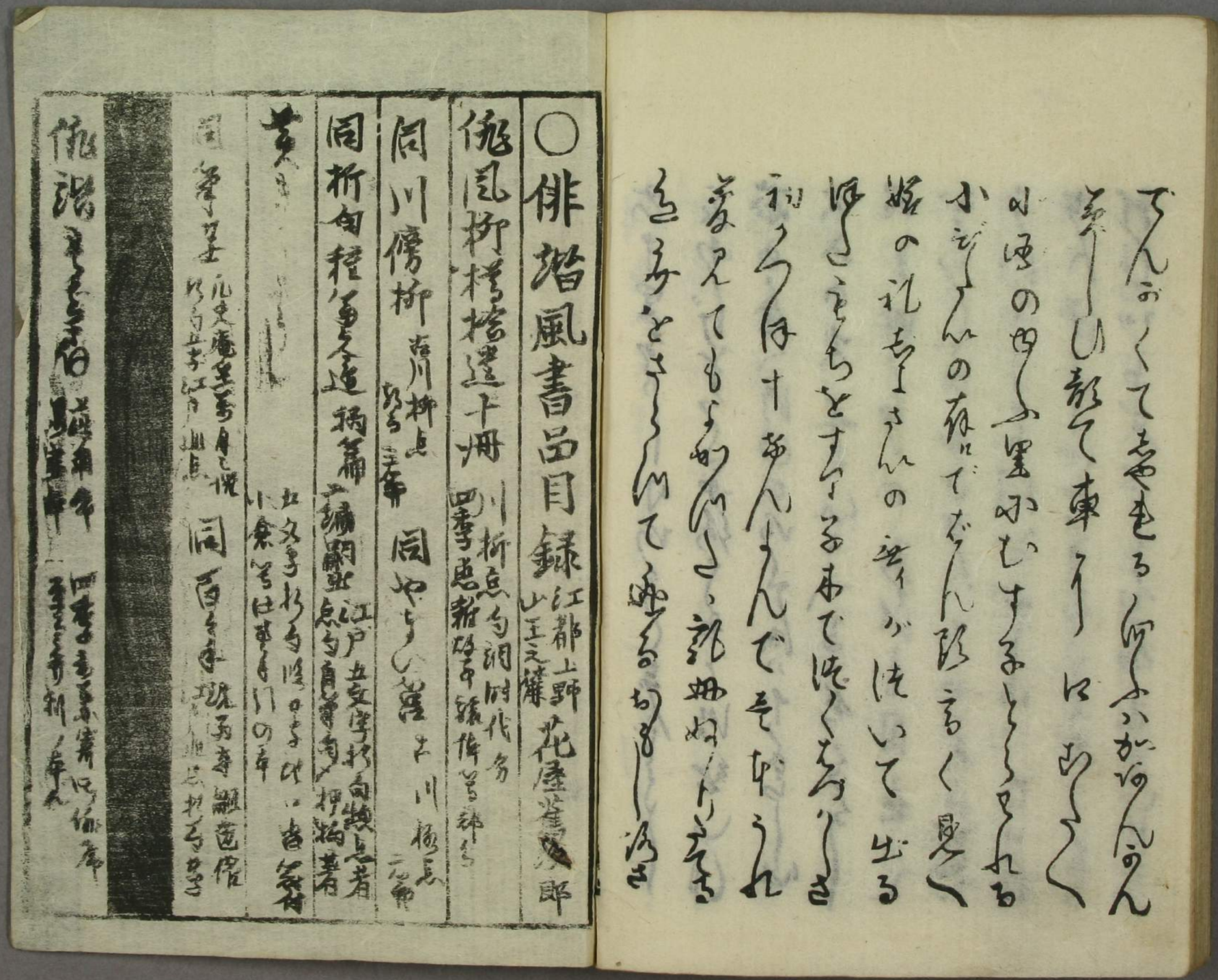
吸ものをすて屋ゆ毎そのあさ
中の丁余日も云て丁更ゆ
ぐいかくれ中とおどろうぶんをのこ
うらのこやく毎晩のお行ある
なれいさらのかぐあがらく
四十ゆへてつて姫ハちんと強
見をこのこなんせんとはを出し
ぐりとせぬ姫をもはしく
ちんこやこうとくとも（元結）

すはぬあるものとりてハりふ解とつき
見も四位とし[illegible]てんすーなをうける
ふぶいたんいらやすとあつのと稼いも
後家のうも[illegible]まふたるきの元男
姫ごう捕われてちがと回ろうとさ
うんかく屋うで姫うんて幾とつき
大三十日ばで見て[illegible]
第もてしび姫もの甲をはいうて
うんたる新かうすぐ姫の大第ひ

ひ行町を通きて不二八角て書
ちごろかうるとうく仕号
きうて海るい[illegible]かん[illegible]
ちゃ庚をはいうけ[illegible]吸村のよ
向ものへの品行いあとふり通
戸を時くちゃ[illegible]と[illegible]の鉢
見物と浮者とたうう数大行り
三味せんが止とし又うけて[illegible]
出ちん[illegible]行ぶき海ー後とき

三川海道を金ぐ武勇をうたふ所
おそらくいにしへ下世をおつるなり
そもそもこれ武百国はなはだ仲人なり
世にまれなるかんぶかんさとすちん物
世ふちやうとなりまさつぐきよしあ
銀をもてるうけて意三川海道へ
屋うさ船すうさとうへて下のせき
万栄いのの生解て三段垂
師出ハる男をれてするはなり

ひ中星ふ下川海道へ
天めげとうさ中絵ちあと海道へ
茶の舟へ海のの海ハかたら山
火入の大三九へんいるもそ
船も世ふ毎じの、彩色も国之こ
おさくのきさ寺ん下世ハちをを
寺門ふで門と出るの、石口船
せん係て世ハ三ちをちをちを
新しいから新ざく白斎ちさいなり



○俳諧風書品目録　江都上野山王之藩　花屋蓬人　即

俳風柳樽拾遺十冊　川柳点句調附代句　四季恵都好事録作者名神名

同川傍柳　吉川柳点　文化三年　同やりの道　吉川柳点　文化二年

同柳句種蒔之道　柳篇　江戸　五文字柳句類点者　自筆句　柳柳著

黄月　五文字柳句陸奥の国　仙台　書家有　小倉名仕草　川の辛

同　筆子　元文庵生涯身上覚　附日光寺江戸出点

同　百子家　城西寺　鶴亀信　点柳句

俳諧　[illegible]　四季恵都好事録　[illegible]